

平成25年 6月11日

お 知 ら せ

件 名	平成24年度全国水生生物調査の結果及び平成25年度の参加者募集について
-----	-------------------------------------

お知らせ内容

平成24年度全国水生生物調査結果の北海道開発局における調査結果と平成25年度の参加者募集についてお知らせします。(資料-1)

また、全国については国土交通省及び環境省から発表されました。(資料-2、参考1)
詳細については国土交通省のホームページをご覧ください。

(国土交通省 報道・広報URL)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000646.html

問 合 せ 先	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
	北海道開発局 河川管理課	低潮線保全官	工藤 宏幸	709-2311 内線5323
	北海道開発局 河川管理課	低潮線保全係長	旭 峰雄	709-2311 内線5970

平成24年度全国水生生物調査の結果（北海道開発局関係分）及び
平成25年度の参加者募集について

問い合わせ先
北海道開発局建設部河川管理課
代表番号 011-709-2311
低潮線保全官 工藤 宏幸（内線5323）
低潮線保全係長 旭 峰雄（内線5970）

- ◇ 平成24年度の全国水生生物調査（北海道開発局関係分）は、1,569人の参加を得て行われ、以下のような結果がまとまりました。
- ① 北海道内39地点で、河川の水生生物を調査することにより水質の判定が行われ、「きれいな水」と判定された地点が全体の85%を占めました。
- ② 小中学校や市民団体の多数の参加が得られました。（参加者のうち、小中学校が95%、市民団体等が5%）
- ◇ 本年度も調査への参加を募集しますので、ぜひご参加ください。

1. 平成24年度調査結果の概要

（1）調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定しました。

（2）調査結果

○参加者数

平成24年度の参加者は、1,569人でした。

参加者数	1,569人
参加団体数	44団体
調査地点数	39地点

○水質判定結果

平成24年度は、全調査地点の85%の地点で「きれいな水」と判定されました。

		地点数	全調査地点における割合
I	きれいな水	33地点	85%
II	ややきれいな水	5地点	13%
III	きたない水	1地点	3%
IV	とてもきたない水	0地点	0%
	計	39地点	

*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

2. 全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問い合わせ先

平成25年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

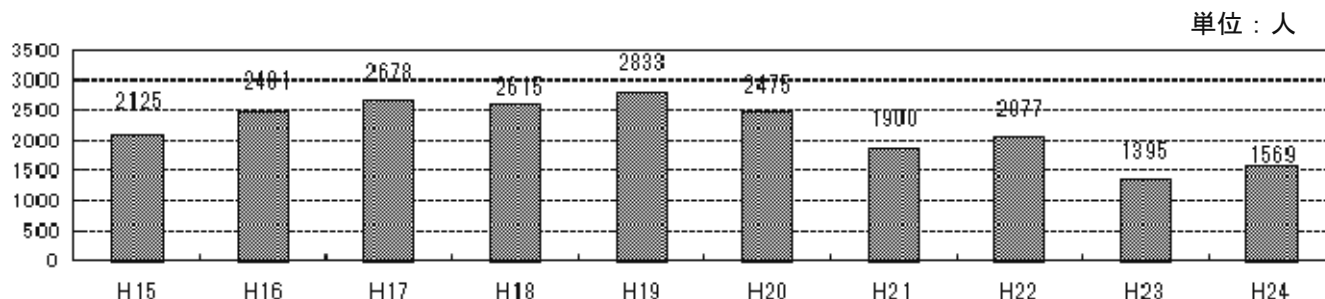
部局名	担当課	電話
北海道 開発局	建設部 河川管理課 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目	011-709-2311
札幌 開発建設部	公物管理企画課 〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目	011-611-0328
函館 開発建設部	工務課 〒040-8501 函館市大川町1-27	0138-42-7604
小樽 開発建設部	工務課 〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15-5	0134-23-5195
旭川 開発建設部	公物管理課 〒078-8513 旭川市宮前通東4155-31	0166-32-1487
室蘭 開発建設部	治水課 〒051-8524 室蘭市入江町1-14	0143-25-7045
釧路 開発建設部	治水課 〒085-8551 釧路市幸町10丁目3	0154-24-7250
帯広 開発建設部	治水課 〒080-8585 帯広市西4条南8丁目	0155-24-4105
網走 開発建設部	治水課 〒093-8544 網走市新町2丁目6-1	0152-44-6471
留萌 開発建設部	治水課 〒077-8501 留萌市寿町1丁目68	0164-43-5515

平成24年度全国水生生物調査結果（北海道開発局関係分）

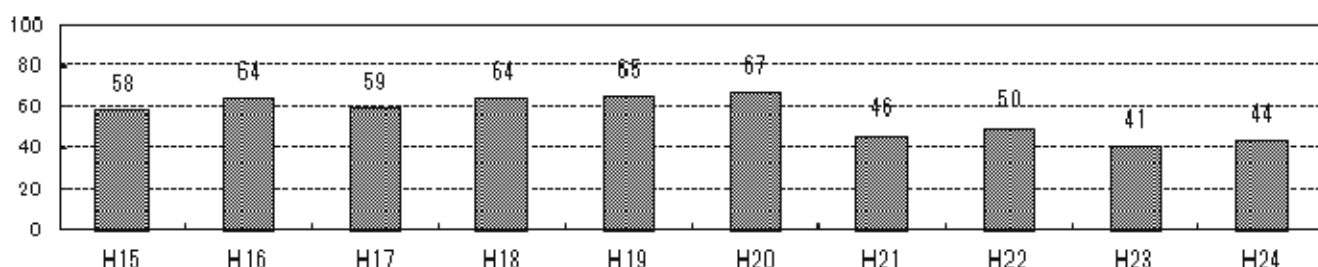
1. 参加人数及び団体数

平成24年度の参加人数は、延べ1,569人となりました。参加団体別参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで中学校の参加が多くなりました。

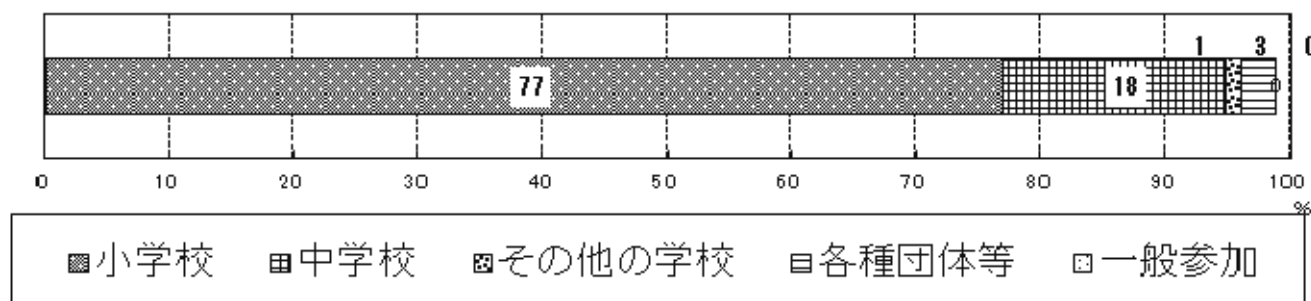
○ 参加人数の推移



○ 参加団体数の推移



○ 参加人数の団体別構成比

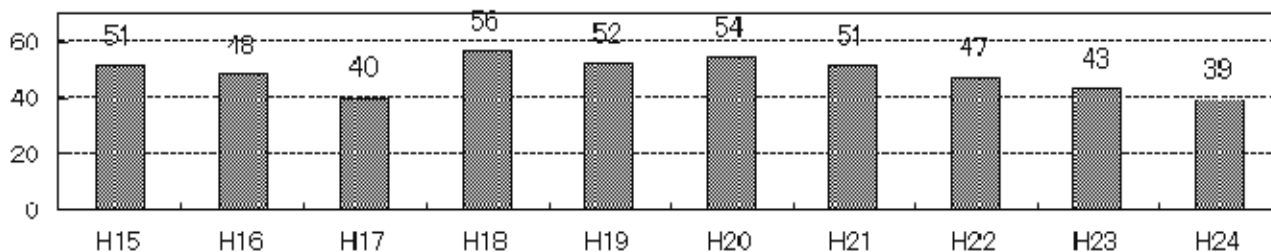


*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

2. 調査地点数

平成24年度の調査地点数は39地点でした。

○ 調査地点数の推移

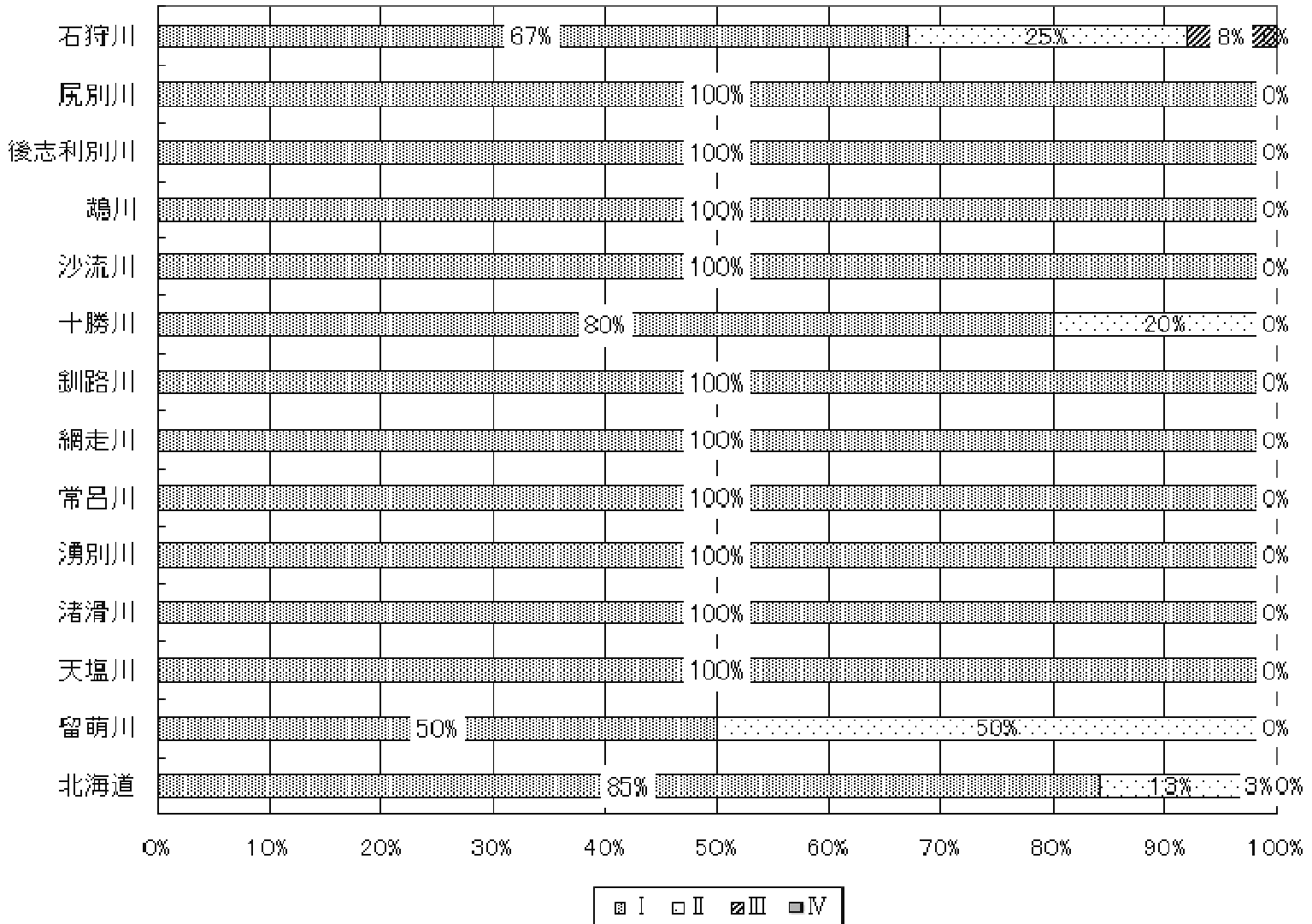


3. 河川別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、河川の水質を概括的に知ることができると考えられます。

平成24年度は、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が85%、Ⅱ（ややきれいな水）が13%、Ⅲ（きたない水）が3%、Ⅳ（とてもきたない水）と判定された地点が0%でした。

○ 河川別の水質階級構成

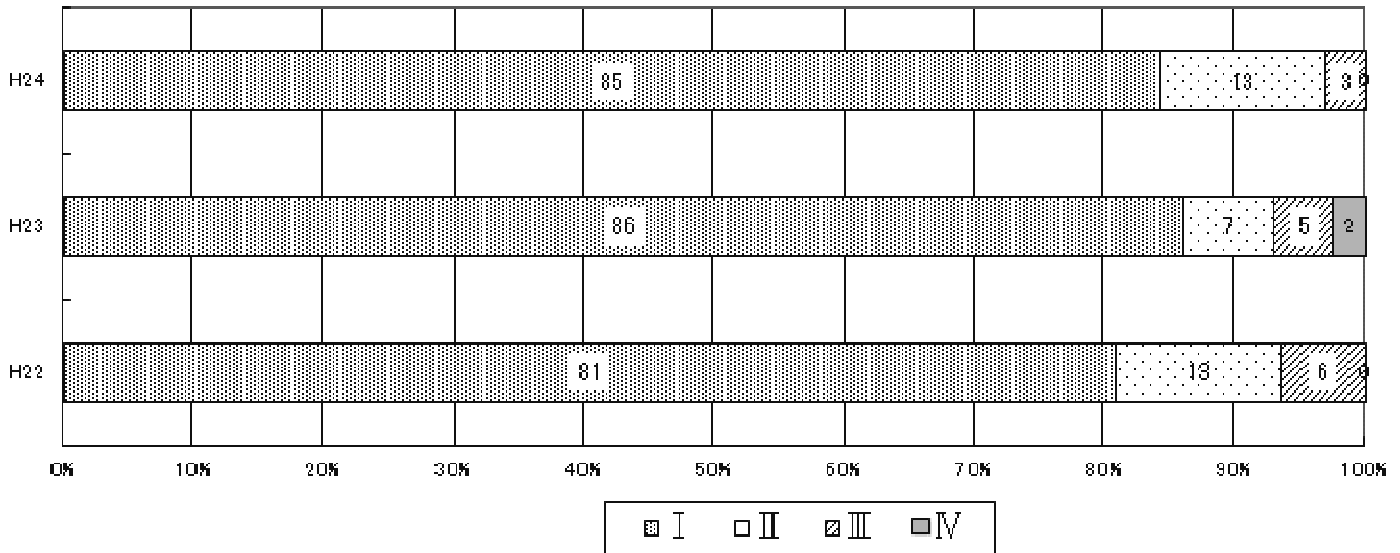


*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

4. 水質階級構成比の年次推移

年度ごとの調査地点は相違しており、必ずしも同地点を比較したものではありませんが、過去3カ年の推移を見ると、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点は、おおむね8割を示しています。

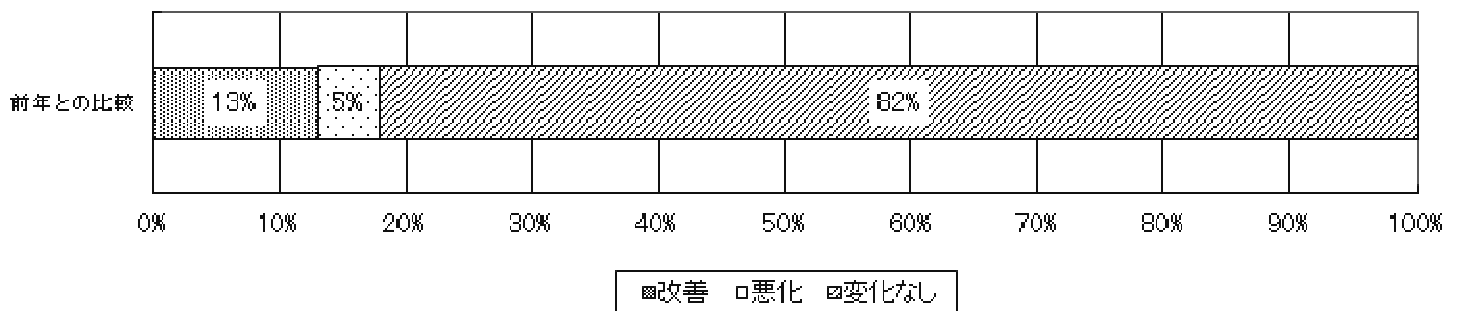
○ 水質階級構成比の年次推移



*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

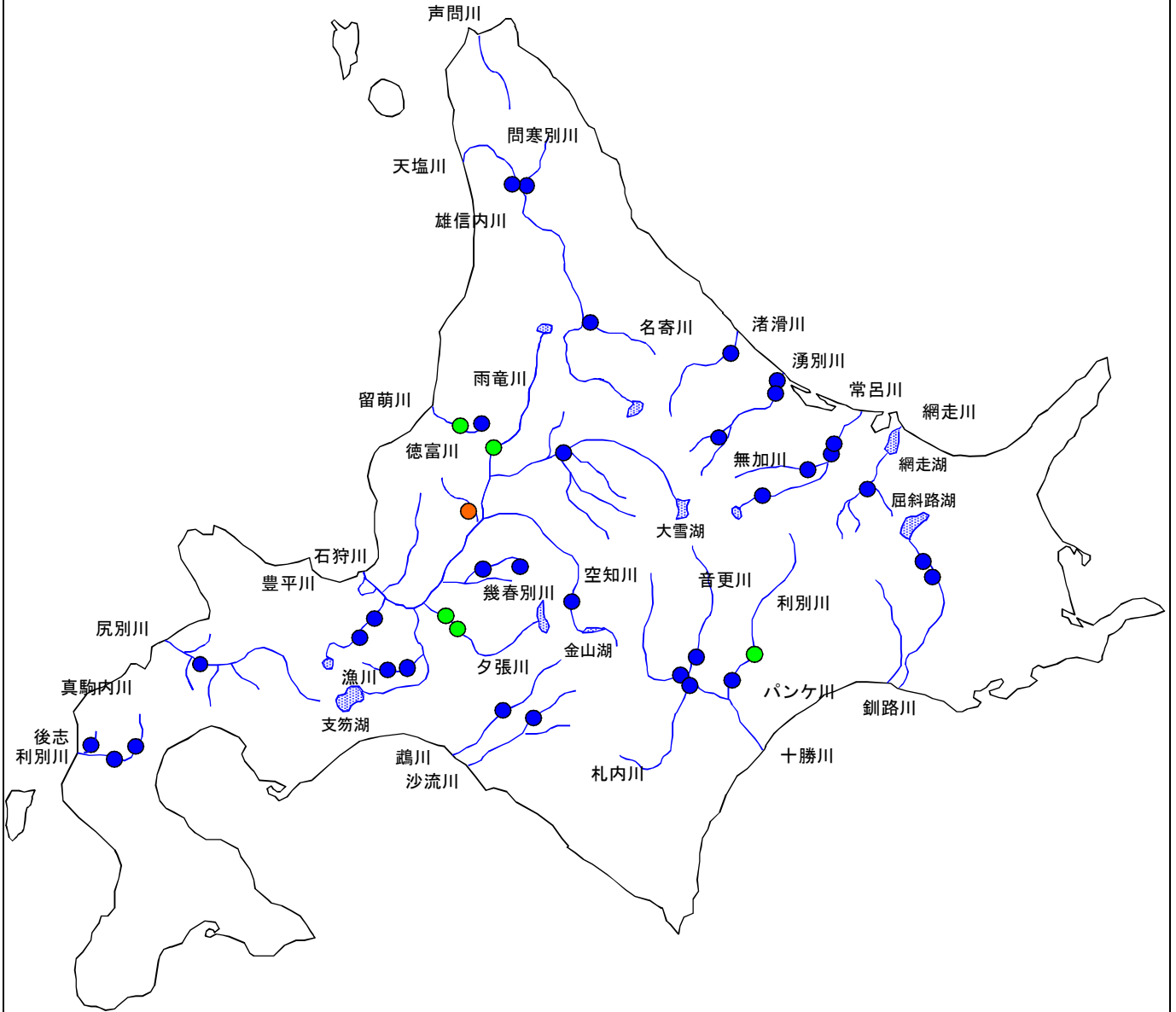
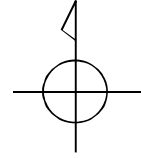
5. 前年度（H23）の一級河川調査地点との比較

前年度と同じ一級河川調査地点で調査された38地点について比較すると、13%の地点が改善、5%の地点が悪化、82%の地点が同じ水質階級でした。



*四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

平成24年度 水生生物調査地点位置図（北海道）



水質階級	記号
I. きれいな水	● (Blue)
II. ややきれいな水	● (Green)
III. きたない水	● (Orange)
IV. とてもきたない水	● (Pink)
判定不能	● (Brown)

(環境省同時発表)

平成 25 年 6 月 1 1 日(火)
水管理・国土保全局河川環境課

平成 24 年度全国水生生物調査の結果及び 平成 25 年度の調査の実施について（お知らせ）

- 水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、環境省と国土交通省では、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。
- 平成 24 年度の全国水生生物調査は約 62,000 人の参加を得て行われ、夏休み期間を中心として、多くの学校（小中学校等：約 40,000 人）や、市民団体等（市民団体・子供会・観察会等：約 19,000 人）から参加が得られました。平成 23 年度は東日本大震災の影響による参加者の減少が見られましたが、平成 24 年度は被災地を含め参加者が増加しました。
- 全国の調査地点 2,432 地点のうち、全体の 59%の地点でサワガニやカワゲラ類等の指標生物の生息が確認され、「きれいな水」と判定されました。
- 本年度も調査を実施しますので、是非御参加下さい。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

課長補佐 三宅 洋（内線 35-443）

係 長 大嶋 恭子（内線 35-482）

TEL 03-5253-8111（代表）、03-5253-8447（直通）

FAX 03-5253-1603

環境省 水・大気環境局 水環境課

課 長 宮崎 正信（内線 6610）

課長補佐 佐藤 克子（内線 6612）

担 当 山本・照井（内線 6622）

TEL 03-3581-3351（代表）、03-5521-8314（直通）

FAX 03-3593-1438

1. 全国水生生物調査とは

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。このような調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから誰でも簡単に参加できるという利点があります。また、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会となるため、環境省と国土交通省では、昭和 59 年度から全国水生生物調査を実施しています。

2. 平成 24 年度調査結果の概要

(1) 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(ややきれいな水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しました。

(2) 調査結果

○参加者数

平成 24 年度の参加者は 61,818 人(前年度 55,772 人)でした。平成 23 年度は東日本大震災の影響による参加者の減少が見られましたが、平成 24 年度は参加者が増加しました。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
合計	61,818 人	1,587 団体	2,432 地点
一級河川※1	15,621 人	437 団体	505 地点
その他の河川※2	46,197 人	1,150 団体	1,927 地点

※1：一級河川大臣管理区間 ※2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等(※1以外)

○水質判定結果

平成 24 年度は、全調査地点の 59%の地点で「きれいな水」と判定され、前年度(55%)と同様の状況でした。

	合計	一級河川	その他の河川
Ⅰ きれいな水	59%	66%	58%
Ⅱ ややきれいな水	28%	29%	28%
Ⅲ きたない水	7%	4%	8%
Ⅳ とてもきたない水	3%	0%	4%
判定不能	2%	1%	3%

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

3. 平成25年度調査の実施について

平成25年度も、平成24年度に引き続き、全国水生生物調査を実施します。

また、平成23年度に、川の水のよごれ（水質ランク）をより判別しやすくすることを目的として、指標生物の見直しを行いました。平成24年度は更新期間のため、下表の旧、更新のいずれかの指標生物で調査を行いました。平成25年度より、更新の指標生物にて調査します。

※「ややきれいな水」、「とてもきたない水」はそれぞれ旧指標における「少しきたない水」、「大変きたない水」です。

（参考）水質階級と指標生物

水域	川の水のよごれ (水質ランク)	旧	更新	
淡水域	きれいな水(Ⅰ)	1 ナミウズムシ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	8 ブユ類	
		9 アミカ類	9 アミカ類	
			10 ヨコエビ類	
	きれいな水(Ⅰ)～ ややきれいな水(Ⅱ) (指標としない)			1 ヒゲナガカワトビケラ類
				2 ニンギョウトビケラ類
				3 タニガワカゲロウ類
				4 チラカゲロウ
	ややきれいな水(Ⅱ)	1 カワニナ類	1 カワニナ類	
		2 スジエビ		
		3 コオニヤンマ	2 コオニヤンマ	
		4 コガタシマトビケラ類	3 コガタシマトビケラ類	
		5 オオシマトビケラ	4 オオシマトビケラ	
6 ヒラタドロムシ類		5 ヒラタドロムシ類		
7 ゲンジボタル		6 ゲンジボタル		
きたない水(Ⅲ)	1 タニシ類	1 タニシ類		
	2 シマイシビル	2 シマイシビル		
	3 ミズムシ	3 ミズムシ		
	4 タイコウチ			
	5 ミズカマキリ	4 ミズカマキリ		
とてもきたない水(Ⅳ)	1 サカマキガイ	1 サカマキガイ		
	2 エラミミズ	2 エラミミズ		
	3 アメリカザリガニ	3 アメリカザリガニ		
	4 ユスリカ類	4 ユスリカ類		
	5 チョウバエ類	5 チョウバエ類		
汽水域	ややきれいな水(Ⅱ)	1 ヤマトシジミ	1 ヤマトシジミ	
		2 イシマキガイ	2 イシマキガイ	
	きたない水(Ⅲ)	1 イソコツブムシ類	1 イソコツブムシ類	
		2 ニホンドロソコエビ	2 ニホンドロソコエビ	

（お問い合わせ先）

- 各都道府県の環境部局

https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

- 各地方整備局等の窓口（一級河川直轄管理区間）

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/suisitu/toiawase.html

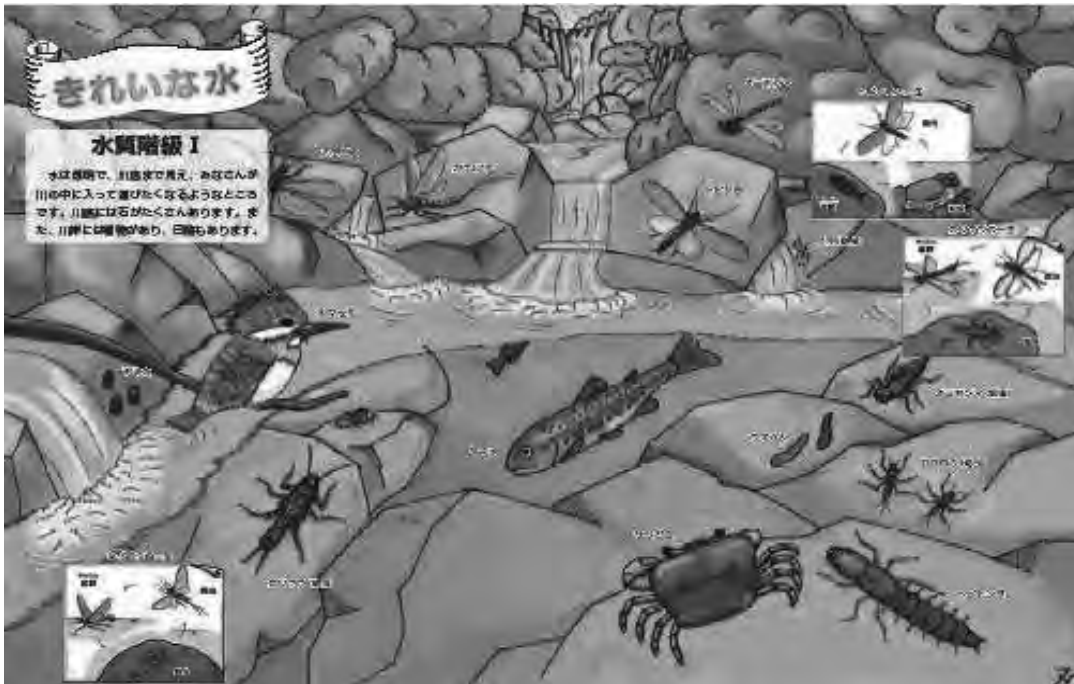
全国水生生物調査の概要

【参考1】

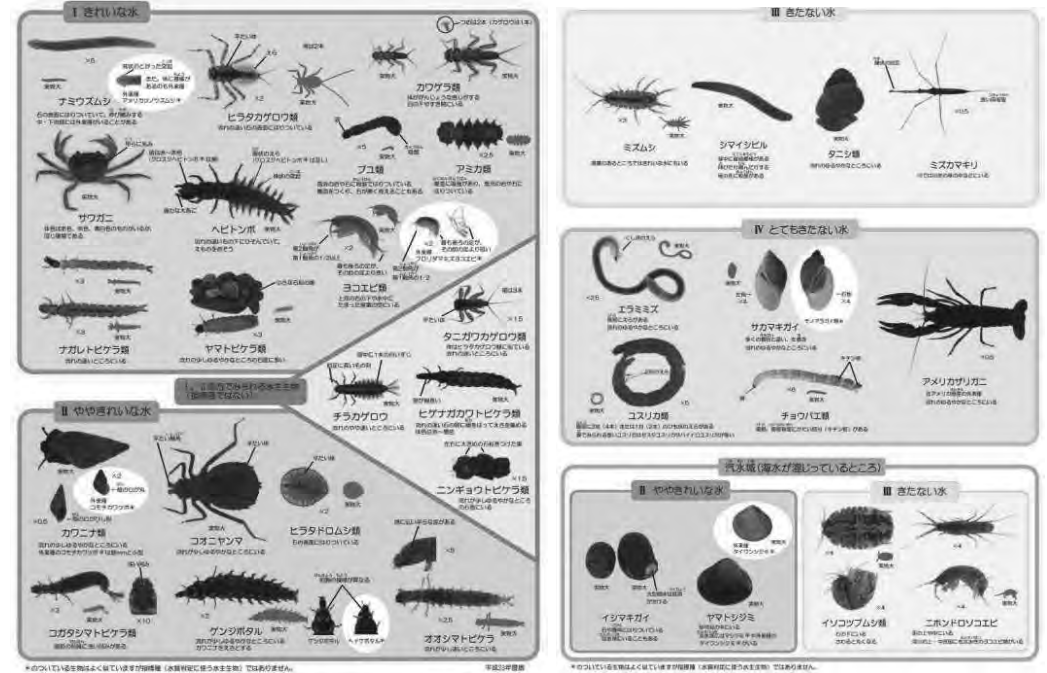
川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物